

睡眠時無呼吸症候群(SAS)の判定方法

問診回答と緑内障検査数値をもとにSASである可能性を判定する

概要

SASを放置すると、心血管疾患などの合併症が発症し、重篤な症状に至る危険がある。しかし、SASの症状は自覚しにくく、日本では20人に1人が潜在的な患者とされる。緑内障の患者はSASを発症する可能性が高いと知られているため、緑内障患者にSASの検査を推奨するのは有益だが、すべての緑内障患者に検査を施行するのは現実的ではない。

本発明は、緑内障患者がSASに罹患している可能性を判断するための、眼科医を対象とした機械学習モデル及びそれを搭載したアプリに関するものである。リクルートした500名以上の緑内障患者を対象に、基本的な眼科検査と共に、年齢、性別、BMIの情報収集及び在宅睡眠SAS検査による睡眠時の酸素濃度測定を行った。睡眠時の酸素濃度がベースラインより下回る回数/1時がある基準より多い患者をSAS患者と定義し、全身パラメータと眼科パラメータを組み合わせることでSAS患者を予測する機械学習を施行した。本アプリは問診の回答や全身パラメータ、及び視野検査を含む緑内障検査結果などの眼科パラメータを入力することで、SASに罹患している可能性を高い精度で算出できるものである。

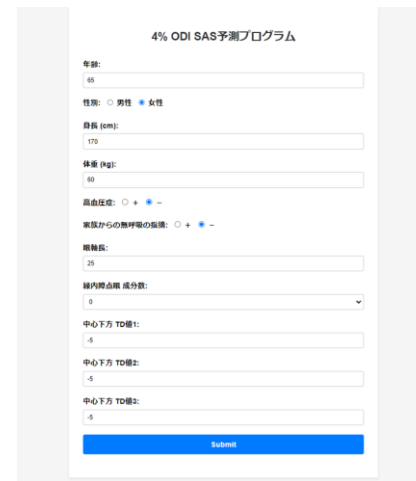
応用例

- 医師向け診断支援ツール

知的財産データ

知財関連番号 : PCT/JP2023/029855
発明者 : 中澤 徹、檜森 紀子、清田 直樹
整理番号 : T23-008

性能・特徴等



アプリ画面 (例)

※特許未公開の為詳細なパラメータ等について個別にお問い合わせ頂ければ幸いです

関連文献

論文準備中

お問い合わせ

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH